

令和4年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業ワークショップ」

開催日	令和4年6月9日（木）
会場	いわき市立中央台南小学校
参加学年	5年生20名 及び 担任
講師	いわき語り部の会 小野 浩 様
実践活動のねらい	震災について学び考える時間を設定することで「ふるさとふくしま」を意識させ、郷土への愛着を深めさせたい。また、その思いを文字で表現させたい。



講師（語り部）の小野浩様から震災当時の話を聞いたり、画像や映像から津波の恐ろしさを子どもたちに意識させたりしていた。また、日頃の備えの重要性、夢や希望を持つことの大切さも説いた。

その後、いわき教育事務所の担当から「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」における十七字のつくり方、創作する際などの注意点等を話させてもらった。

今後、ワークショップに参加した5年生全員は作品を応募することになる。

